

第二次世界大戦 70 年、ボスニア紛争終結 20 年企画 ～サッカーを通じて平和教育を学ぶ～ 「過去」を知り、「未来」を考えるボスニア・ヘルツェゴビナ 8 日間

株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：平林朗 以下 H.I.S.）エコ・スタディツアーデスクは、NGO サラエヴォ・フットボール・プロジェクト（代表：森田 太郎 以下 SFP）と共同企画し、第二次世界大戦 70 年、ボスニア紛争終結 20 年企画～サッカーを通じて平和教育を学ぶ～「過去」を知り、「未来」を考えるボスニア・ヘルツェゴビナ 8 日間の発売を開始しました。（<http://eco.his-j.com/volunteer/tour/TF-BHI-SSJ-SOCCER>）

サラエボには、「モスタル旧市街」「ヴィシエグラードのソコルル・メフメト・パシャ橋」など多くの世界遺産があり、町の人々も陽気で明るく、観光客で賑わう一方で、民族間紛争により悲惨な出来事が起きたとは事実として町はずれの至る所に破壊されたまま放置された建物や、銃弾の跡が残る民家などが残されています。

ツアー内では、いまだに対立の残るボスニア・ヘルツェゴビナで、どのような形で平和教育がおこなわれているのか、また日本の道徳、社会科、国語科などで主に行われているかを、現地の学校の先生とツアー参加者とでディスカッションし、両国が未来を築く子供たちのために共にできる平和教育の形を考えます。また、2000 年にボスニア・ヘルツェゴビナの小学生民族混成サッカークラブとして活動をはじめたクラブチーム FK クリコの結成当時の様子や、サッカーを通じて子供たちが民族に関係なく交流し、友情を育み、サッカーによって一つになっていった体験の話等を聞く機会も設けました。

大学生や教員又は教員志望の方など平和教育に関心がある方や、戦跡・歴史ファンなど幅広いお客様層にご参加いただければと考えております。



民族融和の象徴世界遺産モスタル（イメージ）

終戦 70 年、そしてボスニア紛争終結 20 年の年にあたる今年 H.I.S. の企業理念としても掲げているように平和産業でもある観光産業として、旅を通じて、世界の現実を知り、交流を図り、理解を深めていけるようなツアーを造成しご提供できればと考えております。

～サッカーを通じて平和教育を学ぶ～「過去」を知り、「未来」を考えるボスニア・ヘルツェゴビナ 8 日間

出発日：2015年 8月 17日（月）出発 /ご旅行代金：289,000 円
 航空会社：ターキッシュエアラインズ（共にエコノミークラス）
 利用予定宿泊先：Overnight at the hotel Hollywood or similar または同等クラス
 添乗員：なし（NGO サラエヴォ・フットボール・プロジェクト代表 森田氏が現地にて合流）
 食事：朝 6、昼 5、夜 6 /最少催行人員：15 名様
 一人部屋追加代金：35,000 円
 商品 URL：<http://eco.his-j.com/volunteer/tour/TF-BHI-SSJ-SOCCER>



サッカー交流（イメージ）